

ベルマーク 大南の会ベルマーク委員会

ベルマーク運動は、「すべての子どもに等しく、豊かな環境の中で教育を受けさせたい」と昭和35年に始まった歴史あるボランティア活動です。保護者会などが中心となり、市内の多くの小学校などで収集活動を行っています。

今回は、大和田南小学校保護者会の「大南の会」ベルマーク委員会にお話を伺いました。

ベルマーク運動の仕組みは

協賛会社が食品や文房具などにつけているベルマークを学校などが集め、ベルマーク財団に送ることで、1点1円分に換算され学校のベルマーク預金になります。その預金で教育に必要なさまざまな教材備品などを協力会社から購入することができます。

また、購入費の10パーセントは、へき地の学校や災害被災校、開発途上国などの子どもたちの支援に使われます。基本的に学校単位での参加のため、個人では点数を集めても備品購入はできませんが、地域の子供たちへの応援という形で参加することができます。



▲月1回、仕分けや点数計算などを行っています

地域の皆さんの協力が 大きな力に

大南の会では、大和田図書館や学区内のスーパーなどの協力を得て、ベルマーク回収箱を置いています。皆さんから寄せられたベルマークは、学校などで回収したベルマークに合算され、子どもたちが使う備品購入の一助となります。



大和田図書館のカウンター前に置いてある回収箱。ベルマーク委員が定期的に回収しています。



地域の皆さんが子どもたちのために協力しているのがすてきですね。



高松記者

「大南の会」では、子どもたちが楽しみながらベルマークを集められるよう、さまざまな工夫をするだけでなく、近隣の図書館やスーパーにも回収箱を設置するなど、地域全体で積極的に活動していると思いました。ベルマ

◆こんなものもベルマークの点数に

インクやトナーのカートリッジが点数に換算できることをご存じでしょうか。ベルマークが付いていなくても、インクカートリッジは1個5点、トナーカートリッジは1個50点に換算されます。ほかにも、下のロゴマークが付いたジュースなどの紙パック（テトラパック）も点数として換算できます。容器内側にアルミが付いた紙パックは1キログラム100点に、内側が白色のものは1キログラム50点に換算されます。マークは、切り取らずパックごと集めています。開いて洗い、よく乾かしてから出してください。



マークは、パックの裏側や、開口の反対側などに付いています。



▲ベルマーク委員長
の河上由香さん

子どもたちの大きな力になりますので、ご協力をお願いします。

ークが生命保険の約款やコンビニのおにぎりなど意外な商品にも付いていることや、テトラパックも点数に換算できることを初めて知りました。子どもが卒業してからはしばらく遠ざかっていましたが、私も八千代の子供たちの応援のために、また集めてみようと思いました。

使用済み切手

ロータスクラブ

使用済み切手は、その図柄や消印に惹かれて集めている収集家が世界中にいます。

使用済み切手を回収・整理し、専門業者に売ったお金を活用して、地域の福祉活動に役立っているのがロータスクラブです。切手整理作業を体験してきました。

ロータスクラブってどんな団体？

“家事や子育ての合間にできることをしよう”と昭和63年に勝田台の主婦の会「あいまの会」として発足した社会福祉協議会のボランティアグループです。平成6年にロータスクラブに改称しました。平均年齢68歳の32人が次の日程で活動しています。

▶活動日時/場所 第2・4木曜日午前10時～午後4時/ふれあいプラザ。第3土曜日午後1時～3時30分/福祉センター

※会員募集中。各自の好きな時間帯に参加できます。興味のある人は社会福祉協議会☎483-3021へお問い合わせください



▲会長の中谷三郎さん

会話を楽しみながら、自分のペースで楽しく作業をしています。古い切手や海外の切手などを手に取り眺めながら、歴史や文化を感じることでもありますよ。

①切手の回収

福祉センター、ふれあいプラザ、八千代中央郵便局に回収箱を置いてあります。27年度からは市内各郵便局にも回収箱を設置予定です。



使用済みの磁気カードやテレホンカードも集めています。回収箱と一緒に入れてください。

②切り取り

封筒やはがきに貼られた切手の回りを3～5ミリメートルほどの余白を残して切りそろえる。切手の目打ち（ふちのギザギザ）まで切り取られたものや、汚れがひどいものは除外する。年賀はがきなど、始めから切手が印刷されているものは収集の対象外です。



集中して作業していると1時間くらいあっという間にたっとう間にたっとうまいますね。

③仕分け

日本と海外のものに分ける。海外の切手は、漢字のものとアルファベットのものに分けます。

アニメのキャラクターや地方限定のものなどいろいろな種類があるんですね。



長く続けていても初めて見る切手がたくさんあって面白いんですよ。



▲目打ちまで切られているものやあらかじめ印刷されているものは回収していません

④換金・福祉活動へ

整理済みの切手がある程度たまったら、買取業者に郵送し換金する。月3回の作業でだいたい3キログラム集まり、1キログラム500円程度で引き取ってもらえます。

27年度にはこれまで積み立てたお金を使って市内施設にAEDを寄附する予定です。



夏戸記者

使用済み切手の整理作業を初めて体験しましたが、夢中になってやっちゃいました。「家に持ち帰ったらずっとやっちゃいそうだから、ここでしかやらないのよ」というメンバーの皆さんの言葉にも深くうなづきました。汚れていたり、ぎざぎざまで切り取られているものは捨てるしかないの思わず「もったいない」の声。一枚たりとも無駄にしたいくない思いが伝わってきました。

今回の作業でどのくらいの金額になったのかは分かりませんが、自分にも人のために何かができるのだという小さな喜びを感じました。